

令和6年度 奈良県キャラバン・メイト養成研修の開催について

1. 目的

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」を養成する「認知症サポーター養成講座」の講師役である「キャラバン・メイト」を養成することを目的とします。

2. キャラバン・メイトとは

キャラバン・メイトとは、市町村等の自治体と連携の上、地域住民、学校や職域等を対象に認知症に関する学習会である「認知症サポーター養成講座」の企画、立案を担い、講師役を務めていただく方です。

原則として、本研修修了者には、キャラバン・メイトとして登録していただいたうえで、認知症サポーター養成講座の講師として活動していただきますことを、あらかじめご了承ください。

3. 実施主体

奈良県及び全国キャラバン・メイト連絡協議会

4. 対象者

次の受講要件のうちいずれかを満たし、かつ年10回程度（最低実施回数3回）の認知症サポーター養成講座を行うことができる者。

- (1) 認知症介護指導者養成研修修了者
- (2) 認知症介護実践リーダー研修修了者（痴呆介護実務者研修専門課程修了者）
- (3) 介護相談員
- (4) 公益社団法人 認知症の人と家族の会 会員
- (5) 上記の他、キャラバン・メイトの目的を理解し活動ができる以下の者
 - (5)－1 行政職員（保健師、一般職等）
 - (5)－2 地域包括支援センター職員
 - (5)－3 介護従事者（ケアマネジャー、施設職員、在宅介護支援センター職員等）
 - (5)－4 医療従事者（医師、看護師等）
 - (5)－5 民生児童委員
 - (5)－6 その他（ボランティア等）

5. 開催日時

令和7年2月18日(火) 10:00～17:20

※受講決定の連絡は、令和6年12月25日(水)頃にメールにて行います。

※研修に遅刻された場合、修了となりませんので御了承ください。

6. 開催場所

奈良県社会福祉総合センター研修室B・C（橿原市大久保町 320-11）

（アクセスの URL <http://www.narafukushi.com/access>）

7. 定員

100名

8. 内 容

講義及び演習

別途プログラムを参照願います。

9. 受講費用

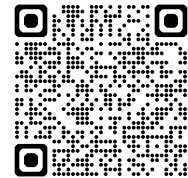
無料（交通費、昼食代は本人負担）

10. 募集方法

（株）日本旅行「受付システム・アポロン」による電子申請システムにより受付いたします。

（URL）https://va.apollon.nta.co.jp/nara_caravanmateR6

※本研修業務の一部を（株）日本旅行奈良支店に委託しています。



募集 QR

11. 申込期限

令和6年12月19日（木）正午まで

※ 期限を過ぎると、電子申請システムの入力ができません。

12. 問合せについて

- ・ 研修の内容、受講決定に関すること

奈良県地域包括支援課長寿・包括ケア推進係 TEL：0742-27-8540

- ・ 受付システムに関すること

（株）日本旅行奈良支店 TEL：0742-26-7225

13. その他留意事項・

- ・ 申込者数の定員超過により、受講のご希望に添えない場合があります。
- ・ 申込みいただいた内容は、市町村の認知症キャラバン担当窓口あて情報提供させていただく場合があります。



令和6年度奈良県キャラバン・メイト養成研修プログラム

開催日：令和7年2月18日(火)

場所：社会福祉総合センター研修室 B・C

時間：10:00～17:20 (受付開始 9:30～)

(6時間)

| 時間 | 内容 (時間は目安) | 目的 |
|--|--|---|
| 9:30～10:00 | 受付 | |
| I 開会挨拶・オリエンテーション | | |
| 10:00～10:20 20分 | <ul style="list-style-type: none"> ○認知症をめぐる現状・奈良県の認知症施策について ○認知症サポーターキャラバンとは ○研修のねらい | 認知症サポーターキャラバンとは何か、事業展開の趣旨について理解し、事業の位置づけを確認する。 |
| II 認知症サポーターに伝えたいこと | | |
| 10:20～11:45 85分 | 1. 認知症の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ○認知症とは ○認知症の主な症状 ○中核症状・行動・心理症状 ○認知症の診断・治療 <ul style="list-style-type: none"> ・早期診断・早期治療の重要性 ○認知症の人への対応 ○認知症の予防についての考えかた | <p>認知症とはどういう病気なのかを知り、正しく理論的に理解する。</p> <p>認知症サポーター養成講座でサポーターへ分かりやすく伝えられるようにする。</p> |
| 11:45～11:55 | (10分休憩) | |
| 11:55～12:30 35分 | 2. 介護家族の心理的理解 <ul style="list-style-type: none"> ○認知症の人と接するときの心がまえ ○介護者の気持ちの理解 ○介護者への支援 | 認知症の人や介護をしている家族の気持ちを理解し、どのような支援をすればよいか考える。 |
| 12:30～13:30 | (昼食休憩) | |
| 13:30～13:40 | ～グループワーク席準備 (10分程度)～ | |
| III 認知症サポーター養成講座の運営方法 午後からは適宜休憩となります。 | | |
| 13:40～14:25 45分 | 1. 認知症の人を地域で支える <ul style="list-style-type: none"> ○認知症の人を支えるネットワーク <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムについて ・地域の社会資源 ○認知症サポーターとは ○認知症サポーターができること (地域でできること、働く場面でできること児童・生徒などの場合) | <p>認知症の人を支える奈良県下の社会資源やネットワークについて学ぶ。</p> <p>近隣や地域で起きている様々な問題について、様々な状況を想定し、どこの窓口に繋ぐのが適切か考える。</p> <p>認知症の人を地域で支える視点を学ぶ。</p> |
| 14:25～14:45 20分 | 2. 認知症サポーター養成講座の展開方法 <ul style="list-style-type: none"> ○サポーター養成の取組事例の紹介 (市町村) ○サポーター養成講座の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・キャラバン・メイトの役割 ・サポーター養成講座開催の流れ | キャラバン・メイトの役割を確認し、認知症サポーター養成講座の展開について、協力体制や企画などの実務、講座のポイントなど運営方法について学ぶ。 |
| 14:45～17:05 140分 | 演習 (グループワーク) 適宜休憩 <p>「対象者に合わせたカリキュラムを作ってみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受講対象者の分類とカリキュラム作成 A 地域住民 / B 職域 / C 学校など ○グループ発表 ○まとめと講評 | <p>対象者ごとに基本情報を整理する。 (分類ごとの特徴をおさえた講座にするため)</p> <p>実際の講座開催を想定して、プログラムの作り方を体験的に学ぶ。</p> |
| IV 事務連絡 | | |
| 17:05～17:20 15分 | <ol style="list-style-type: none"> 1. キャラバン・メイトの登録について 2. 質疑応答・アンケート記入・回収 3. 修了証・オレンジカード・オレンジリング授与 | 登録・講座開催までの流れ等についての事務連絡。 |
| ～ 閉会 ～ | | |